

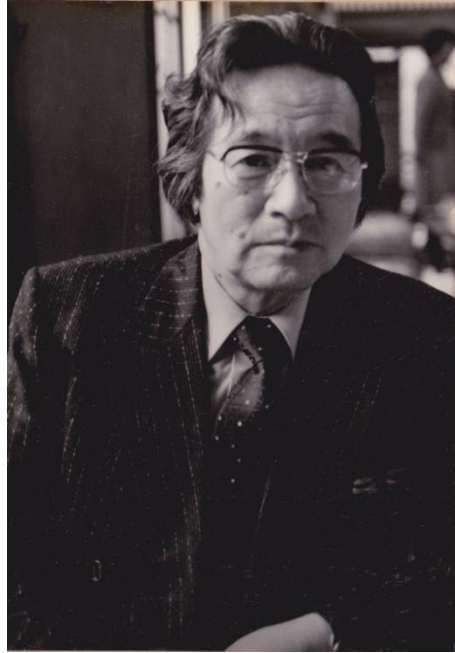
加藤 健太郎

(筆名 片山丈士 杉英一)

大正6年8月5日、山形県酒田市新堀にて出生。生家は、寛永9年に改易され庄内に配された加藤清正の嫡男忠広と繋がりがあ
る。

早稲田大学卒業後に演劇博物館助手となり、旧文芸協会復興運動に参加。戦時中は脚気、結核にて入院・療養生活を続ける。

戦後、山形県鶴岡市にて療養生活のかたわら、ラジオドラマ等を執筆。昭和23年には鶴岡南高校定時制の教諭となる。



昭和30年に創作集「沼」を出版後教諭を辞め、加藤忠広の研究に没頭。昭和33年に忠広の生涯を描いた戯曲「身は明星に似て」を出版した。

昭和34年に横浜に転居後、忠広の父清正の真の姿を追い求め、史実だけをもとにした清正史伝を編纂。昭和42年に「加藤清正 上下巻」を出版し、昭和49年にはNHKの番組「日本史探訪 加藤清正」で五味康祐と対談した。

昭和46年頃から横浜市教育講座で戦国史講座の講師を担当。好評を得て次々と講座が開かれ、さらに史跡を訪ねる旅行も含め横浜歴史散歩の会として発展した。以降、平成19年に高齢のため退くまで30年以上、横浜を含めた数力所の同様の歴史講座の会の講師を続けた。その間、「神奈川の歴史を歩く」、「史話100選」、「語りべ日本の歴史Ⅰ・Ⅱ」等を出版した。

友人の紹介により、昭和50年の夏から一年半ほど鎌倉山扇湖山荘で暮らす。扇湖山荘が鎌倉市に寄贈された翌年の平成23年1月2日死去。享年93歳。

主なる著作 「沼」 昭和30年 創美社
「身は明星に似て」 昭和33年 コスモス社
「加藤清正 上下巻」 昭和42年 河出書房
「戦国と清正」「清正の治政」 昭和46年 月刊ペン社
「語りべ日本の歴史Ⅰ」 昭和57年 鎌倉春秋社
「語りべ日本の歴史Ⅱ」 昭和60年 鎌倉春秋社

他に清正、忠広に関係する著書や、劇評、論文等多数。